

東北大理学部昭和44年入学生による講演会

2019年4月20日（土） 13:00～17:00

東北大学理学研究科 合同C棟 2F多目的室
（仙台市青葉区荒巻字青葉6-3）

理学部の大先輩が、物理、地球物理、地球科学、化学、生物／生命科学について、最新のトピックから、歴史まで、自由闊達な切り口で話します。

■ 講演会開会の挨拶	（副研究科長・広報室長）	小原隆博
1. 素粒子標準モデルの最後のピース（ヒッグス粒子）の発見	（物理）	海野義信
2. 宇宙線とニュートリノ振動（質量）の発見	（物理）	本田守広
3. 気象学50年の進歩	（物理）	中島映至
4. 有機半導体の開発	（化学）	山下敬郎
5. エピジェネティクス	（生物）	田嶋正二
6. ナチュラリストになりたくて一動植物の生き方を学ぶー	（生物）	高槻成紀
7. 地球内部物質研究の50年	（地学）	赤荻正樹
■ 講演会終了の挨拶		本田守広

主催 50年ぶりに東北大を見にゆく会
共催 理学部・理学研究科
理学校友会

会場：合同C棟

入場無料, 予約不要

会場：地下鉄東西線青葉山駅北口徒歩1分

問合せ先 小原 022-795-3794